

2015年度 後期

学生による授業アンケート結果

教育開発推進委員会

目次	【概要】
1. 全体の結果	* 2015年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。
2. 科目分野別の結果	* アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。
3. 授業形態別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
4. 受講者数別の結果	* 評価は5段階評価です。(1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
5. 先生のアンケートから	* 後期は1月25日～2月8日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。

1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

①実施科目数 97科目

②質問項目別に見る平均

【表1】

設 問	平均
学生自己評価について	4.19
1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した	4.28
2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど)	4.10
授業について	4.27
3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	4.31
4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	4.28
5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間)	4.35
6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった	4.36
7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った	4.30
8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった	4.02
9.この授業の進め方及び内容は適切であった	4.21
10.課題の内容は学習に役立った	4.22
11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた	4.42
12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.19
13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	4.30
14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む)	4.37
15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった	4.23
16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	4.17
環境について	4.35
17.教室の広さは適切であった	4.36
18.机や椅子の配置は適切であった	4.35
19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった	4.35

2 科目分野別の結果

*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「英語」「現代教養」等に分類しています。

①実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目:文献講読演習	1	文献講読
基礎科目:日本語科目	1	日本語表現法Ⅱ
基礎科目:英語科目	2	English Reading IV/English Reading IV
基礎科目:外国語(英語以外)	6	ドイツ語Ⅱ/スペイン語Ⅰ/スペイン語Ⅱ/中国語Ⅰ/韓国語Ⅰ/手話Ⅰ
基礎科目:現代教養	8	哲学/日本国憲法/日本古典文学研究Ⅰ/生命科学論/教養と読書/キリスト教入門/キリスト教人間論/フレッシュマンセミナーⅡ
基幹科目	72	日本民族学/外国史/文化人類学/漢文学/精神保健福祉相談援助の基礎(専門)/医療的ケア/子ども・家庭ソーシャルワーク論/児童福祉演習/介護の基本Ⅰ/相談援助の理論と方法Ⅳ/長崎の福祉/現代社会と福祉/社会保障Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/日本語の構造Ⅱ/情報検索/精神保健の課題と支援Ⅱ/環境心理学/子どもの保健Ⅱ/子どもと環境/比較心理学/乳児保育/ケアマネジメント論/国際政治学/比較文化研究(日中比較文化論)/医学一般Ⅱ/保育・教育システム論/音楽基礎理論Ⅱ/子どもと宗教/子どもと宗教/生活環境論/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/カウンセリング論Ⅱ/学習心理学/心理統計学Ⅱ/心理学入門Ⅱ/人格心理学/リズムⅡ/乳児保育Ⅱ/障害児保育/手話技術演習/心理検査法Ⅱ/美術/子どものことば/子どもの保健Ⅱ/社会的養護内容/社会調査法演習/音楽表現法/総合演習/総合演習/総合演習/保育内容総論/子どもの心理臨床と相談支援/総合演習/幼稚園教育実習指導Ⅰ/保育内容総論/造形表現法/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ/子どもの音楽Ⅰ/子どもと環境Ⅱ/子どもの食と栄養/総合演習/情報処理演習/English SeminarⅣ/ビジネスコミュニケーション実践論/書道/基礎介護実習指導/幼稚園教育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅱ/心理学実験Ⅰ(基礎)幼稚園教育実習指導Ⅱ/心理学実験Ⅰ(基礎)
資格・免許に関する科目	9	国語科教育法Ⅰ/教育方法論/情報資源組織論/児童サービス論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ/モンテッソーリ教具提供法Ⅲ
専攻演習科目	1	専攻演習Ⅰ

②質問項目別に見る平均

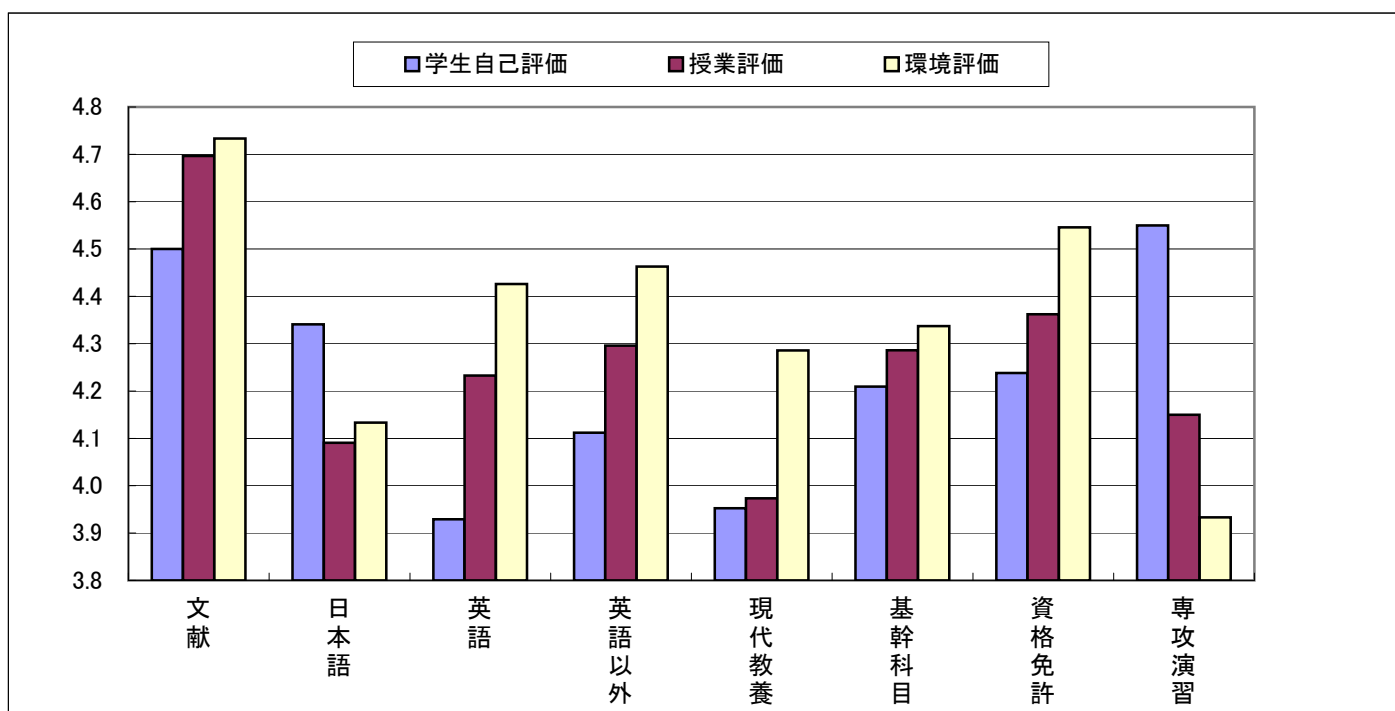
【表2-2】

①実施科目数 97科目		基礎科目					基幹科目	資格免許	専攻演習
		文献	日本語	英語	英語以外	現代教養			
学生自己評価	平均	4.50	4.34	3.93	4.11	3.95	4.21	4.24	4.55
1.適切な態度		4.60	4.45	4.03	4.21	4.12	4.29	4.31	4.60
2.意欲的な取り組み		4.40	4.23	3.83	4.02	3.78	4.13	4.16	4.50
授業への評価	平均	4.70	4.09	4.23	4.30	3.97	4.29	4.36	4.15
3.シラバスの授業への反映		4.80	4.32	4.18	4.30	4.04	4.34	4.35	4.20
4.成績評価基準の明示		4.40	4.14	4.25	4.23	4.09	4.31	4.25	4.10
5.授業時間を守る		4.60	3.77	4.57	4.42	4.20	4.35	4.52	4.56
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.60	4.27	4.53	4.46	4.07	4.37	4.53	3.70
7.教材が理解に役立った		4.60	4.09	4.44	4.36	3.97	4.30	4.49	4.40
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.20	4.00	3.79	4.18	3.57	4.06	4.03	3.89
9.進め方と内容の適切さ		4.75	4.18	4.22	4.20	3.96	4.21	4.42	4.00
10.課題の内容は学習に役立った		4.80	4.23	4.10	4.26	3.71	4.26	4.26	4.30
11.教員の熱意が感じられた		4.80	4.18	4.35	4.38	4.24	4.44	4.53	4.20
12.適切な学習環境の保持		4.60	3.90	4.06	4.16	4.04	4.20	4.25	4.50
13.学生の努力の公正な評価		4.80	4.09	4.28	4.36	4.04	4.31	4.37	4.40
14.学生の質問や発言への適切な対応		5.00	3.95	4.41	4.43	4.17	4.37	4.54	4.40
15.問題意識・関心が深まり		5.00	4.05	4.00	4.24	3.76	4.27	4.26	4.30
16.先輩や友人に勧めたい		4.80	4.09	4.07	4.17	3.74	4.21	4.26	3.78
環境への評価	平均	4.73	4.13	4.43	4.46	4.29	4.34	4.55	3.93
17.教室の広さの適切さ		4.80	4.15	4.38	4.52	4.26	4.34	4.65	3.70
18.机・椅子の配置の適切さ		4.80	4.05	4.45	4.51	4.26	4.33	4.56	4.10
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.60	4.20	4.46	4.36	4.35	4.34	4.43	4.00

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



*「基幹科目」と「資格免許」の授業評価についてが「現代教養」に比べて高いことが伺えます。

3 授業形態別の結果

* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

* 授業形態は担当教員の届出によります。

①実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	56	日本語表現法Ⅱ/ドイツ語Ⅱ/スペイン語Ⅰ/スペイン語Ⅱ/中国語Ⅰ/韓国語Ⅰ/哲学/日本国憲法/日本古典文学研究Ⅰ/生命科学論/教養と読書/キリスト教入門/キリスト教人間論/フレッシュマンセミナーⅡ/日本民族学/外国史/文化人類学/漢文学/精神保健福祉相談援助の基礎(専門)/医療的ケア/子ども・家庭ソーシャルワーク論/児童福祉演習/介護の基本Ⅰ/相談援助の理論と方法Ⅳ/長崎の福祉/現代社会と福祉/社会保障Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/日本語の構造Ⅱ/情報検索/精神保健の課題と支援Ⅱ/環境心理学/子どもの保健Ⅱ/子どもと環境/比較心理学/乳児保育/ケアマネジメント論/国際政治学/比較文化研究(日中比較文化論)/医学一般Ⅱ/保育・教育システム論/音楽基礎理論Ⅱ/子どもと宗教/子どもと宗教/生活環境論/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/カウンセリング論Ⅱ/学習心理学/心理統計学Ⅱ/心理学入門Ⅱ/人格心理学/国語科教育法Ⅰ/教育方法論/情報資源組織論/児童サービス論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ
演習系	31	文献講読/English ReadingⅣ/English ReadingⅣ/手話Ⅰ/リトミックⅡ/乳児保育Ⅱ/障害児保育/手話技術演習/心理検査法Ⅱ/美術/子どものことば/子どもの保健Ⅱ/社会的養護内容/社会調査法演習/音楽表現法/総合演習/総合演習/総合演習/保育内容総論/子どもの心理臨床と相談支援/総合演習/幼稚園教育実習指導Ⅰ/保育内容総論/造形表現法/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ/子どもの音楽Ⅰ/子どもと環境Ⅱ/子どもの食と栄養/総合演習/情報処理演習
実技系	4	English SeminarⅣ/ビジネスコミュニケーション実践論/書道/モンテッソーリ教具提供法Ⅲ
実習系	5	基礎介護実習指導/幼稚園教育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅱ/心理学実験Ⅰ(基礎)

②質問項目別に見る平均

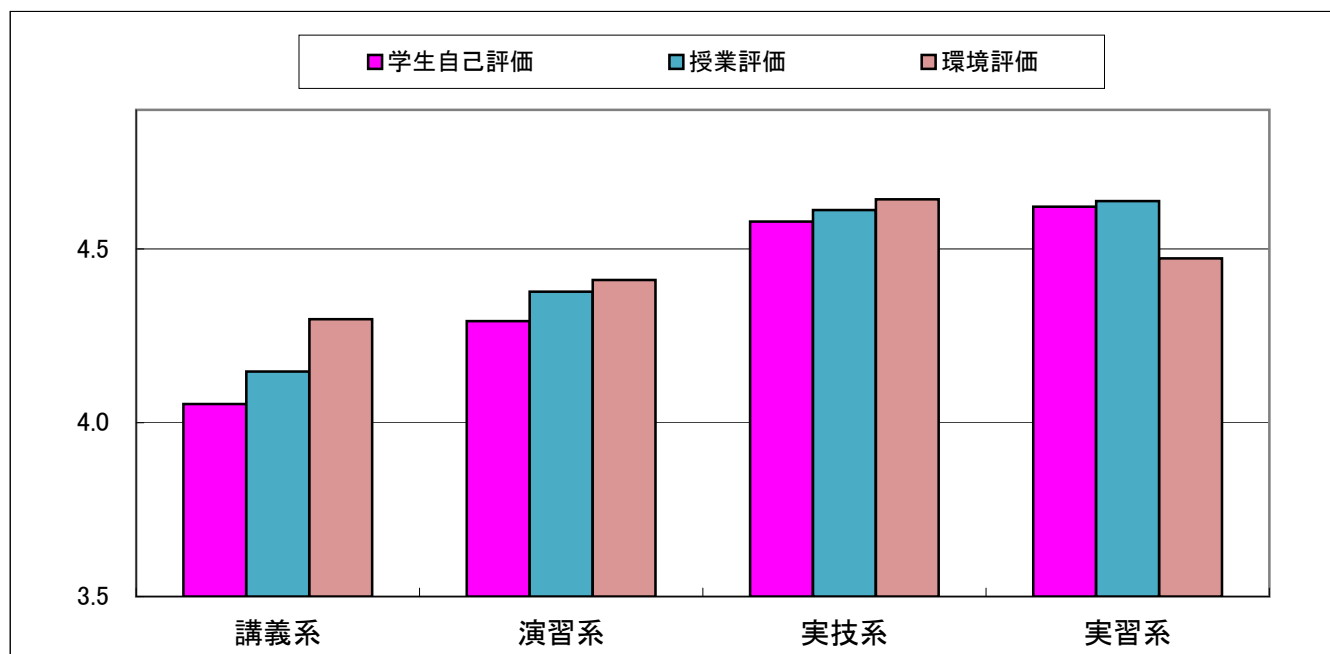
【表3-2】

設問内容※		講義系	演習系	実技系	実習系
学生自己評価	平均	4.05	4.29	4.58	4.62
1.適切な態度		4.16	4.36	4.68	4.71
2.意欲的な取り組み		3.95	4.23	4.48	4.53
授業への評価	平均	4.15	4.38	4.61	4.64
3.シラバスの授業への反映		4.21	4.40	4.63	4.76
4.成績評価基準の明示		4.16	4.39	4.68	4.56
5.授業時間を守る		4.29	4.42	4.59	4.45
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.29	4.43	4.62	4.70
7.教材が理解に役立った		4.16	4.43	4.62	4.64
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.84	4.21	4.44	4.45
9.進め方と内容の適切さ		4.08	4.33	4.61	4.64
10.課題の内容は学習に役立った		4.04	4.40	4.58	4.71
11.教員の熱意が感じられた		4.33	4.48	4.75	4.78
12.適切な学習環境の保持		4.09	4.26	4.53	4.59
13.学生の努力の公正な評価		4.18	4.40	4.71	4.66
①実施科目数 97科目		4.26	4.47	4.69	4.69
15.問題意識・関心が深まり		4.09	4.37	4.56	4.63
16.後輩や友人に勧めたい		4.04	4.30	4.54	4.67
環境への評価	平均	4.30	4.41	4.64	4.47
17.教室の広さの適切さ		4.29	4.44	4.71	4.53
18.机・椅子の配置の適切さ		4.27	4.43	4.73	4.50
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.33	4.36	4.49	4.39

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】



*「実技系」「実習系」の方が「講義系」「演習系」と比べて、全ての評価領域において高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

①実施科目

【表4-1】

受講者数	実施数	実施科目
20名以下	31	文献講読/哲学/教養と読書/精神保健福祉相談援助の基礎(専門)/医療的ケア/児童福祉演習/介護の基本Ⅰ/子どもの保健Ⅱ/子どもと環境/国際政治学/乳児保育Ⅱ/障害児保育/美術/社会調査法演習/総合演習/総合演習/総合演習/総合演習/幼稚園教育実習指導Ⅰ/保育実習指導Ⅱ/保育実習指導Ⅰ/総合演習/English SeminarⅣ/書道/幼稚園教育実習指導Ⅰ/幼稚園教育実習指導Ⅰ/国語科教育法Ⅰ/教育方法論/精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ/モンテッソーリ教具提供法Ⅲ/専攻演習Ⅰ
21名以上50名以下	38	日本語表現法Ⅱ/English ReadingⅣ/English ReadingⅣ/ドイツ語Ⅱ/スペイン語Ⅰ/スペイン語Ⅱ/中国語Ⅰ/韓国語Ⅰ/手話Ⅰ/生命科学論/日本民族学/文化人類学/漢文学/長崎の福祉/日本語の構造Ⅱ/情報検索/精神保健の課題と支援Ⅱ/環境心理学/比較心理学/ケアマネジメント論/子どもと宗教/生活環境論/カウンセリング論Ⅱ/学習心理学/心理統計学Ⅱ/リトミックⅡ/手話技術演習/心理検査法Ⅱ/音楽表現法/保育内容総論/保育内容総論/造形表現法/子どもの音楽Ⅰ/情報処理演習/ビジネスコミュニケーション実践論/基礎介護実習指導/幼稚園教育実習指導Ⅱ/児童サービス論
51名以上100名以下	18	日本古典文学研究Ⅰ/外国史/相談援助の理論と方法Ⅳ/現代社会と福祉/社会保障Ⅱ/異文化間コミュニケーション論/乳児保育/比較文化研究(日中比較文化論)/医学一般Ⅱ/音楽基礎理論Ⅱ/子どもと宗教/児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/心理学入門Ⅱ/人格心理学/子どもの保健Ⅱ/子どもの食と栄養/心理学実験Ⅰ(基礎)/情報資源組織論
101名以上	10	日本国憲法/キリスト教入門/キリスト教人間論/フレッシュマンセミナーⅡ/子ども・家庭ソーシャルワーク論/保育・教育システム論/子どものことば/社会的養護内容/子どもの心理臨床と相談支援/子どもと環境Ⅱ

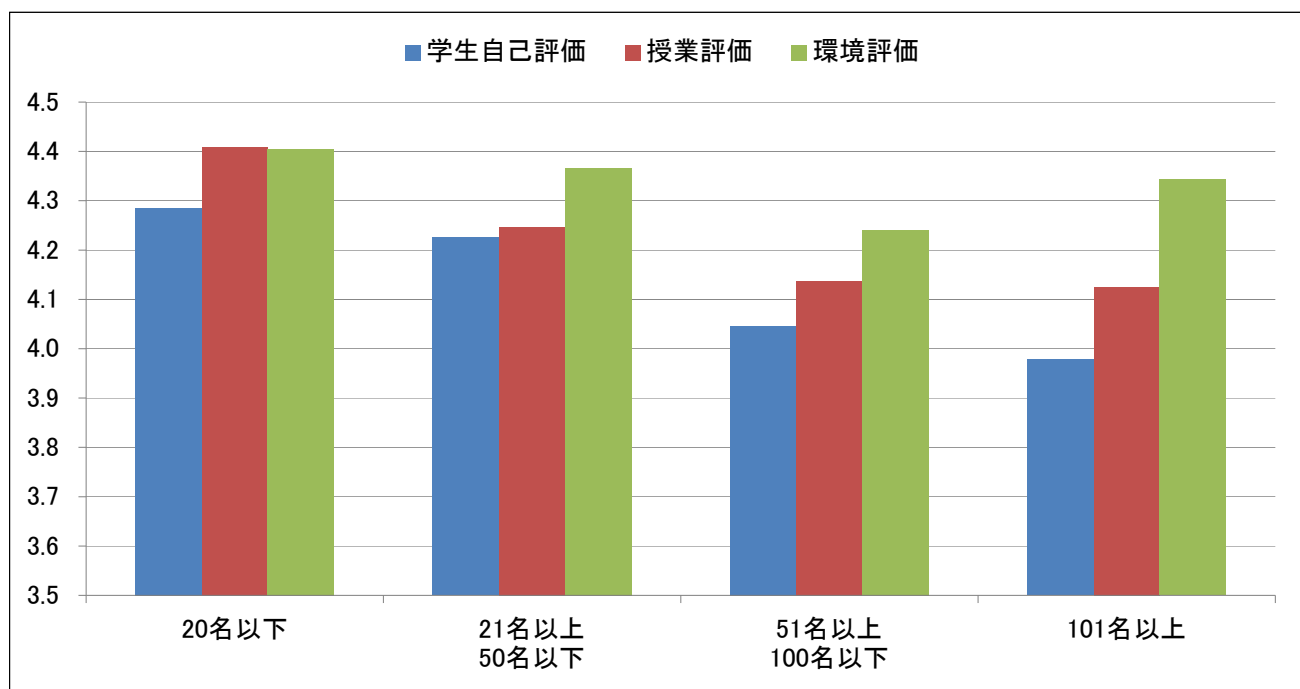
②質問項目別に見る平均

【表4-2】

設問内容※		20名以下	21名以上50名以下	51名以上100名以下	101名以上
学生自己評価	平均	4.29	4.23	4.05	3.98
1.適切な態度		4.39	4.30	4.15	4.08
2.意欲的な取り組み		4.18	4.15	3.95	3.88
授業への評価	平均	4.41	4.25	4.14	4.12
3.シラバスの授業への反映		4.43	4.28	4.25	4.20
①実施科目数 97科目		4.36	4.28	4.21	4.13
5.授業時間を守る		4.45	4.33	4.28	4.28
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.48	4.38	4.21	4.20
7.教材が理解に役立った		4.47	4.28	4.13	4.11
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.14	4.02	3.83	3.95
9.進め方と内容の適切さ		4.40	4.16	4.05	4.09
10.課題の内容は学習に役立った		4.40	4.21	4.05	4.03
11.教員の熱意が感じられた		4.53	4.39	4.32	4.33
12.適切な学習環境の保持		4.31	4.18	4.10	4.05
13.学生の努力の公正な評価		4.46	4.29	4.15	4.11
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.54	4.35	4.22	4.21
15.問題意識・関心が深まり		4.41	4.19	4.08	4.08
16.後輩や友人に勧めたい		4.36	4.12	4.06	3.98
環境への評価	平均	4.41	4.37	4.24	4.34
17.教室の広さの適切さ		4.42	4.40	4.19	4.34
18.机・椅子の配置の適切さ		4.42	4.37	4.22	4.30
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.38	4.33	4.31	4.39

※設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

③受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ



*「20名以下」の少人数の方が「101名以上」と比べて、全ての評価領域において高い評価となっています。